

表7 被害者の年齢と問い合わせ者－義歯洗浄剤による事故

年齢	受信件数(件)			計	
	医療機関	一般市民	その他		
5歳以下	4 [29]	10	0	14	(8)
6～19歳	1	0	0	1	(1)
20～64歳	12 [71]	2	3	17	(9)
65歳以上	95 [77]	8	21	124	(68)
不明	18 [72]	2	5	25	(14)
計	130 [72]	22	29	181	(100)

():年齢区分の構成比(%)

[]:年齢区分別にみた連絡者の構成比(%)

表8 発生場所－義歯洗浄剤による事故

発生場所	受信件数(件)
居住内	102
その他	69
院内	36
老人福祉施設	30
その他	3
不明	10
計	181

表9 被害者の既往症－義歯洗浄剤による事故

既往症	受信件数(件)
痴呆症	46
その他の精神神経疾患	3
その他の疾患	8
計	57

既往症不明:124件

表10 事故発生商品一義歯洗浄剤による事故

商品名	受信件数(件)	市場占有率
酵素入りポリデント*	120 [66]	45%
タフデント*	35 [19]	16%
パーシャルデント*	7 [4]	12%
部分入れ歯用ポリデント	6 [3]	13%
ピカ(赤色包装)*	3 [2]	
ピカ(青色包装)*	2 [1]	
お茶タフデント*	1	
クリスタルポリデント	1	
さわやかコレクト	1	
スカイデント	1	
ニソーデント	1	
ひと晩つけおきタフデント	1	
強力入歯洗浄剤	1	
不明	1	
計	181 [100]	

[]: 商品の構成比(%)

市場占有率は、日用雑貨の総合卸商社が作成している販売促進資料

http://www.nishikyo.co.jp/map_pdf_folder/m_summer/m_dolnavi_su_p14.pdfより引用

表11 発生時の製剤の状態一義歯洗浄剤による事故

年齢	受信件数(件)			計
	錠剤	水溶液	不明	
5歳以下	10 [71]	3	1	14
6~19歳	0	1	0	1
20~59歳	7 [64]	4	0	11
60~69歳	10 [71]	4	0	14
70~79歳	31 [86]	5	0	36
80~89歳	50 [89]	6	0	56
90歳以上	23 [96]	1	0	24
不明	21 [84]	3	1	25
計	152 [84]	27	2	181

[]: 年齢区分別にみた未使用の構成比(%)

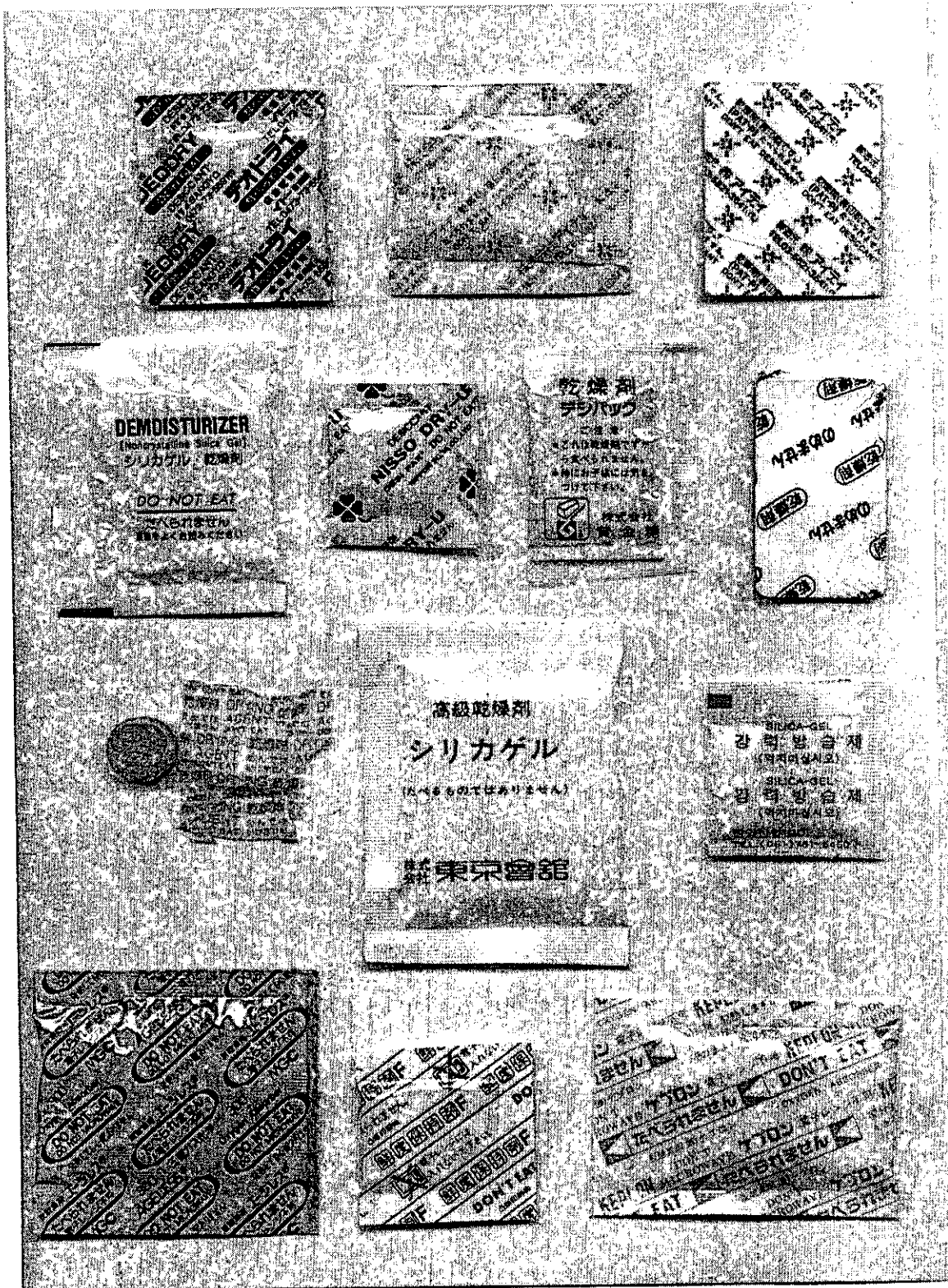
表12 事故発生商品の剤形と成分一義歯洗浄剤による事故

剤形	商品情報収集商品	事故発生商品	事故発生商品の成分
錠剤	14	11	酵素系漂白剤、陰イオン系界面活性剤、炭酸塩、有機酸等
顆粒剤	2	1	アルカリ化剤、酵素系漂白剤等
ペースト剤	2	0	—
液体(ブラシ付き容器)	1	0	—
不織布(薬液含浸)	1	0	—

表13 試買商品の製品表示－義歯洗浄剤による事故

商品名	酵素入りポリリデント		タフデント、お茶タフデント、 パーシヤルデント		ピカ	
	個包装	箱	個包装	箱	個包装	箱
会社名	アース製薬(発売) ブロックアアンドラッドグジャパン(輸入元)		小林製薬		ロート製薬	
製品表示掲載物						
製品表示の内容						
事故発生を 注意喚起する 表示	－	○ 4.5	○ 6	○ 6	○ 4.5	○ 5
添付文書	－	－	－	－	－	○ 8
応急処置	－	○ 4.5	－	○ 6	－	○ 8
商品名	○ 23 (アルファベット)	○ 62	○ 13	○ 61	○ 9	○ 34
品名 (義歯用洗浄剤、入れ歯用洗浄剤)	－	○ 13	○ 6	○ 13	○ 8.5	○ 14
内容量	－	○ 23	－	○ 28	－	○ 9
製剤数	－	－	－	○ 6	－	－
製剤重量	－	○ 5	－	○ 6	－	○ 8
使用方法	－	－	－	○ 6	－	－
液性	－	－	－	○ 6	－	－
成分	－	－	－	○ 6	－	－
相談窓口等の 電話番号	－	○ 4	－	○ 6	－	○ 6
照会先	－	－	－	○ 4	－	－
日本中毒情報センターの 電話番号	－	－	－	－	－	－

数値は表示文字の大きさをポイント数で示す。



生石灰乾燥剤

NEO DRYER

不可食用

NEO

石灰乾燥剤 薬水

たべない ぬかない

かきまない 子供に注意

— ご注意 —

- 口や鼻に入った場合すぐ水で洗った後、医師に相談してください。
- 水気のある所に捨てないで下さい。

木村商店

石灰乾燥剤

Kimura.dry



NEO DRYER

NEO DESICCANT

NEO DRY

不可食用

木村商店

石灰乾燥剤

Kimura.dry

『岐』（四国香川県）で
 べるうどんの味を食卓
 お届け致します。
 本品はざるうどんに
 適な麺に
 上げました。
 平場の味とこしを
 ご賞味
 下さいませ。

おいしいゆで方

ゆで時間約5分～7分

- ① 1袋(300g・2人～3人前)に対して3リットル以上の水を鍋に入れ、沸騰させます。
 - ② 沸騰したらうどんを入れ、軽くはしてほくしてください。
 - ③ うどんを入れた後、しばらくして再び沸騰してきましたら、ふきこぼれのないように少し火を弱め、お好みにより5分～7分くらいゆでます。(少量をはしてとり出し、水で冷やした後、ゆで加減を試してください)
 - ④ ゆであがりましたら、ザルに敷し冷水で充分に水洗いしてください。
 - ⑤ よく水を切って、器に盛り、冷たいつゆにつけてお召し上がりください。なお、やくみには、ネギ、わさび、しょうが、ごま等がよくあいます。(限かくして召しあがる場合は水洗い後、熱湯にて1分程度温めてから熱いかけ汁をかけてお召し上がりください。)
- ★ ゆであがりやすくお召し上がりください。うどんが一番おいしく食べられます。

名 称	生うどん
原材料名	小麦粉、食塩、調味料
内 容 量	300g
賞味期限	特 外 に 記 載
保存方法	開封前は直射日光を避け常温で保存して下さい。開封後は冷蔵庫で保存し、賞味期限にかかわらずなるべく早めにお召し上がり下さい。
調理方法	特 外 に 記 載
販 売 者	株式会社 讃岐物産 MS 香川県三豊郡大歩危町長門1350 電話 (0876) 84-2288

(おねがい)

本品は、厳格な品質管理のもとに製造致しておりますが、万一品質にお気付の点をご座ましたら、お手数ながら返品又は、交換を添付して御一報ください。早速お取り替えさせていただきます。



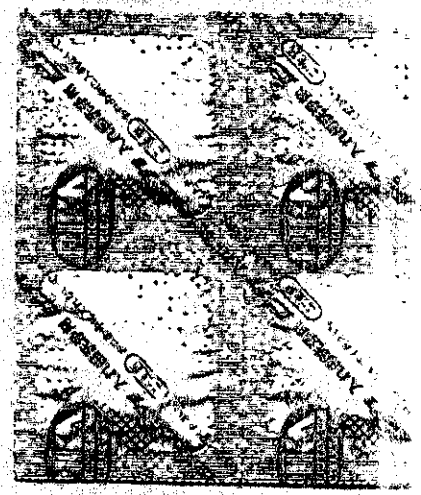
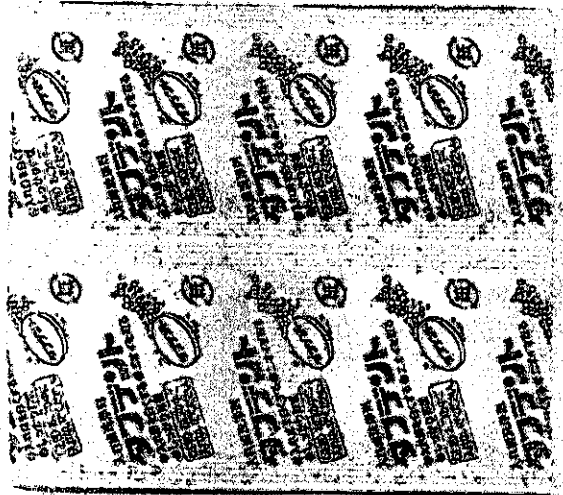
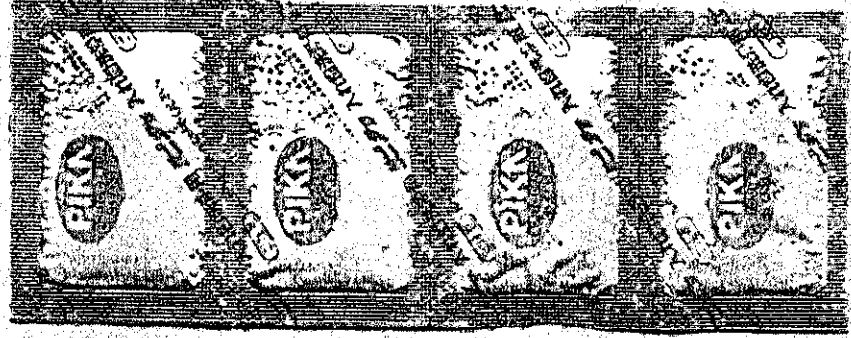
注意喚起の表示

☑ 素材の材質:
 ポリエチレン、ポリアミド
 PE・PA

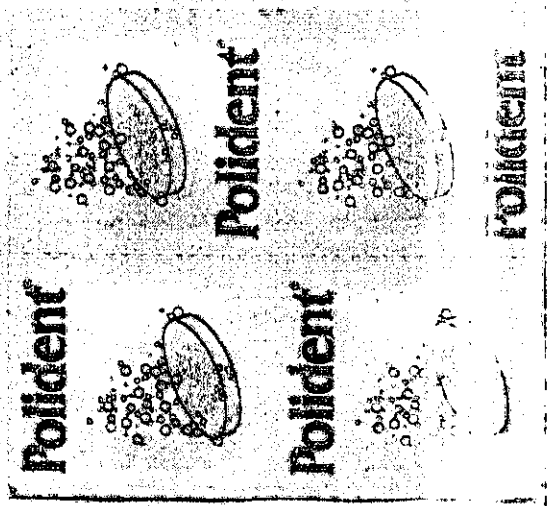
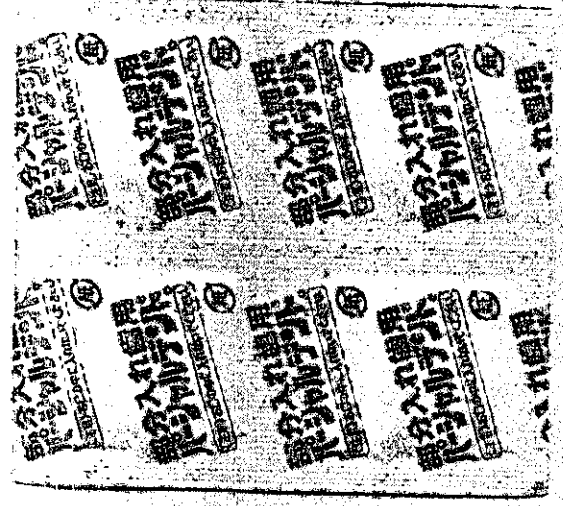
(ご注意)
 品質保持のため、めんに向封している
 脱酸素剤は無害ですが食べられません
 ので、調理時に取り除いてください。

おいしい讃岐うどんを食卓へ
讃岐物産
 〒769-1614 香川県三豊郡大歩危町長門1350

2002.8.23



Labels as in specimens Nos. 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 27, 28, 29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 37, 38, 39, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 47, 48, 49, 50, 51, 52, 53, 54, 55, 56, 57, 58, 59, 60, 61, 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74, 75, 76, 77, 78, 79, 80, 81, 82, 83, 84, 85, 86, 87, 88, 89, 90, 91, 92, 93, 94, 95, 96, 97, 98, 99, 100



Polident

聞き取り調査用紙：義歯洗浄剤による中毒事故

(問い合わせ者：一般市民、その他 被害者：成人、高齢者)

受付ID：

調査実施日時：

事故発生商品名：酵素入りポリドント／タフドント／パーシャルドント／

部分入れ歯用ポリドント／ピカ（赤色、青色）／お茶タフドント／

クリスタルポリドント／さわやかコレクト／スカイドント／

ニソードント／その他（ ）

聞き取り項目：

1. 年齢は何歳代ですか？

[①40代、②50代、③60代、④70代、⑤80代、⑥（ ）代]

2. 今回事故に遭われた方（被害者）とあなたとの関係は？

[①本人、②介護者、③その他：_____]

3. 被害者に既往症はありますか？ [①はい、②いいえ]

1) その既往症は痴呆症ですか。 [①はい、②いいえ]

4. 事故発生時、製品はどのような包装状態にありましたか？

[①個包装が箱に入っていた、②個包装の状態に放置されていた、

③その他（_____）]

5. 溶解液の事故の場合

1) 洗浄容器に何を使用しましたか？

[①食器（_____）、②その他（_____）]

6. 事故発生直後に応急処置はしましたか？

[①した →（水洗、希釈、その他_____）、②しなかった]

1) 応急処置をした場合は何にもとづいて処置をしましたか？

[①製品表示、②自身の知識、③中毒情報センターの情報から、

④その他（_____）]

7. 日本中毒情報センターの電話番号をどのようにして知りましたか？

[①医療機関から聞いた、②メーカーから聞いた、③自分で調べた、

④その他（_____）]

8. 義歯洗浄剤はどこに保管されていますか？ [_____]

9. 被害者は保管場所を知っていましたか？ [①知っていた、②知らなかった]

10. 義歯洗浄剤はどのような状態で保管されていますか？

[①箱のまま保管、②箱から出した個包装のみ保管、

③その他（_____）]

11. 添付文書がある商品の場合

添付文書は商品がなくなるまで保管していますか？ [①はい、②いいえ]

<商品に表示のあるもののみを聞き取ること！記載のない表示物は削除すること！>

12. 次の製品表示を見ましたか？それはどこに表示されていましたか？

1) 事故発生を注意喚起する表示：「錠剤や溶液は口や目の中に入れてください。」

[①見なかった、②見た (a.個包装、b.箱、c.添付文書)]

聞き取り調査用紙：義歯洗浄剤による中毒事故

(問い合わせ者：一般市民、その他 被害者：成人、高齢者)

2) 応急処置：「万一、入った場合はよく水で洗い流し医師の診療を受けてください。」
[①見なかった、②見た (a.個包装、b.箱、c.添付文書)]

3) 商品名：ポリデント、タフデント、パーシャルデント等
[①見なかった、②見た (a.個包装、b.箱、c.添付文書)]

4) 品名：入れ歯用洗浄剤、義歯用洗浄剤
[①見なかった、②見た (a.個包装、b.箱、c.添付文書)]

5) 内容量 [①見なかった、②見た (a.個包装、b.箱、c.添付文書)]

6) 使用方法 [①見なかった、②見た (a.個包装、b.箱、c.添付文書)]

7) 液性 [①見なかった、②見た (a.個包装、b.箱、c.添付文書)]

8) 成分 [①見なかった、②見た (a.個包装、b.箱、c.添付文書)]

9) 相談窓口等の照会先：お客様相談室等
[①見なかった、②見た (a.個包装、b.箱、c.添付文書)]

13. 今回の事故が起こると予想しましたか？ [①はい、②いいえ]

1) 予想した場合は、何故予想しましたか？：

- ① 高齢者が在宅しているから、②痴呆者が在宅しているから、
- ③包装が () と類似していたから、
- ④薬剤が () と類似していたから
- ⑤製品に (注意喚起/使用方法/その他) が表示されていたから
- ⑥その他 ()

2) 予想しなかった場合：どこにどのような表示があれば予想できるとお考えですか？

- (1)どこに：[①薬剤、②個包装、③箱、④添付文書、⑤その他 ()]
- (2)表示体裁：[①文字、②絵、③その他 ()]
- (3)何が：[]

FAX を使用できる場合は、絵表示を送信する。

14. この絵表示から何を連想しますか？

- ①たべてはいけないこと、
- ②その他 ()



15. 製品に中毒情報センターの電話番号の表示は必要と思いますか？

[①思う、②思わない]

16. 義歯洗浄の専用カップが販売されていることをご存知ですか？

[①知っている、②知らない]

17. 専用カップが商品に添付されていれば使用しますか？

[①使用する、②使用しない (理由：)]

厚生労働科学研究費補助金（食品・化学物質安全総合研究事業）
分担研究報告書

家庭用品の誤使用・被害事故の発生状況，原因物質と臨床症状，重症度の検討

分担研究者 前野 良人 大阪府立病院救急診療科 診療主任

研究要旨

【目的】家庭用品に含まれる化学物質に起因する急性中毒の被害の発生状況を詳細に検討し，把握すること。【方法】平成13年の日本中毒情報センターの家庭用品に関する受信例の中で何らかの臨床症状を有すると考えられた3456症例についてその発生状況，原因物質，症状を分析した。さらに重症度を5段階評価し，他の項目との関連性を検討した。平成14年の家庭用品に関する受信例については，事後に医療機関から急性中毒症例調査用紙を回収できた571例の症例検討を行った。【結果】平成13年受信例より家庭用品の誤使用・被害事故に基づく症例は全体の約1/4で，原因物質として漂白剤類や洗剤・洗浄剤類に多く，重症度は比較的低いことが判明した。平成14年症例の中で死亡例を2例認めたが，誤使用・被害事故によるものではなかった。誤使用・被害事故症例で初診時に症状を認めたのは全体の約1/3で，重症度は低く，重症例は認めなかった。【考察】家庭用品の誤使用・被害事故の対策として，相対的な重症度は低いが生例数の多い漂白剤類，洗剤・洗浄剤類群への対応が重要であることが示唆された。

A．研究目的

家庭用品に含まれる化学物質に起因する急性中毒の被害の発生状況を詳細に検討し，把握する。さらに誤使用・被害事故症例とそれ以外の症例を比較検討し，家庭用品の誤使用・被害事故症例の特徴を描出する。

B．研究方法

- 1．家庭用品急性中毒例受信時の発生状況，原因物質，臨床症状，重症度の検討
日本中毒情報センターの平成13年家庭用品受付データベースに含まれる27280例を用いて，有症状例3456例を抽出し，受信時の主症状，重症度を分析した。重症度の評価は，症状不明または実際は無症状だった症例（O群），外来加療例（A群），軽症入院加療例（B群），中等症入院加療例（C群），重症入院加療例（D群）と

5段階に分類した。

2．家庭用品急性中毒例の臨床症例の検討

平成14年の家庭用品に関する日本中毒情報センター受信例について事後に医療機関へ急性中毒症例調査用紙を送付し，担当医療従事者に記載を求めた。この中で平成14年6月から9月の間に調査用紙を回収し得た571症例を抜粋して対象とした。調査用紙より患者情報，発生状況，原因物質，主症状，重症度，治療内容，入院期間，転帰を検討した。

（倫理面への配慮）

被害者となった急性中毒症例の公開は一般の症例報告に準じ，個人のプライバシーは厳守した。

C. 研究結果

1. 家庭用品急性中毒例受信時の発生状

況, 原因物質, 臨床症状, 重症度の検討
重症度別分類ではO群: 1043例(30.2%),
A群: 2051例(59.3%), B群: 266例(7.7%),
C群: 87例(2.5%), D群: 9例(0.3%)と
なった.

受信元分類では1)医療機関経由: 1692例
(49%), 2)一般市民経由: 1658例(48%),
3)その他: 106例(3%)であった. 検定(χ^2 検定,
危険率1%)の結果, 医療機関経由の受信例は一般市民
経由の受信例よりも重症度が有意に高かった(表1).

事故発生状況別に分類すると1)用途の誤り:
41例(1%), 2)用法の誤り: 450例(13%),
3)誤認: 101例(3%), 4)通常使用: 60例(2%),
5)アクシデント: 144例(4%), 6)認識・判断
困難: 1700例(49%), 7)意図的: 603例
(17%), 8)不明: 357例(10%)となった.
発生状況の1)~5)に該当する誤使用・被害
事故例は全体の約25%であった. 発生状況
によって重症度が異なり(χ^2 検定, 危険
率1%), 意図的症例では有意に重症度が
高く, 本研究の対象である誤使用・被害事
故では重症例が有意に少ないことが判明した
(表2).

次に原因物質の製品群別分類では, 頻度
の高いものから順に1)殺虫剤類: 948例
(27%), 2)その他の家庭用品: 546例(16%),
3)化粧品類: 510例(15%), 4)洗剤・洗
浄剤類: 467例(14%), 5)漂白剤類: 247
例(7%)であった. 原因製品群間で有意に
重症度が異なり(χ^2 検定, 危険率1%),
殺虫剤類や溶剤類では重症度が高く,
化粧品類やその他の家庭用品群では重症
度が低いことが示唆された(表3).

対象全体で頻度の高い主症状は1)悪心・
嘔吐, 2)口腔咽喉頭異常感, 3)意識障害,

4)咳・痰, 5)眼痛であった. A群単独では
1)悪心・嘔吐, 2)口腔咽喉頭異常感, 3)咳・
痰であったが, B, C, D群の合計では1)
意識障害, 2)ショック, 3)悪心・嘔吐とな
り, 重症度に応じて主症状の変化が認めら
れた(表4).

2. 家庭用品急性中毒例の臨床症例の 検討

571症例中, 医療機関受診時に無症状か
つ無処置かつ経過観察のみの症例を393例
認めた. 一方, 来院時に有症状または有処
置の症例は105例(表5), 入院加療を受け
た症例は73例(表6)であった.

外来加療例105例中, 処置を受けたのは83
例で, うち65例は無症状であった. 外来処
置では胃洗浄が49例で最も頻度が高かった.
発生状況別では判断困難が最も多く61例,
意図的症例が10例, 誤使用・被害事故に該
当する症例は34例であった. 原因物質は殺
虫剤類と洗剤・洗浄剤類が各26例で最も多
かった.

入院加療例73例の内訳は軽症67例, 中
等症4例, 死亡2例. 平均在院日数は5.0日.
生存者の転帰は退院60例, 転院11例とな
った. 発生状況別では判断困難が32例,
意図的症例が26例, 誤使用・被害事故症
例は14例であった. 原因物質は殺虫剤類と漂
白剤類が各17例, 洗剤・洗浄剤類が13例
であった. なお死亡2例のうち, 1例は殺虫
剤大量服用の意図的症例で, もう1例は痴
呆高齢者の洗剤大量摂取例で死亡との因果
関係は認められなかった.

D. 考察

家庭用品受付データベース3456例の検
討より誤使用・被害事故症例はそれ以外の
発生状況の症例よりも重症度が有意に低
いことが判明した. これは誤使用・被害事
故症

例は意図的症例などと比較して原因中毒物質の摂取・曝露量が少ないためと考えられる。

また重症度と原因物質の関連では上記のごとく殺虫剤類，溶剤類群が化粧品類，その他の家庭用品群よりも有意に重症度が高くなっていた。そこで発生状況と原因物質の関連を検討すると意図的症例の原因物質と誤使用・被害事故症例の原因物質は有意に異っていた。すなわち意図的症例の原因物質として殺虫剤類が多く，誤使用・被害事故症例の原因物質として漂白剤類，洗剤・洗浄剤類が有意に多いことが示唆された。

臨床症例571例の検討では対象全体の2/3が無症状，無処置，経過観察目的で医療機関を受診していた。つまり家庭用品による急性中毒症例は全体的には重症度が低く，さらに本研究対象の誤使用・被害事故関連症例に限定すると今回の対象例では重症者は認めなかった。しかしながら自殺企図症例では重症度も高く死亡例もあり，家庭用品の毒性は無視できるものではない。

以上より，家庭用品に含まれる化学物質に起因する急性中毒の典型的入院例として1)「意図的に殺虫剤類を摂取して重症で入院加療を受ける」，2)「漂白剤類の誤認により発生し軽症で入院加療を受ける」という構図が浮き彫りになった。

1)のような意図的な症例の発症を未然に防ぐという点は本研究の主題からはずれるのでここでは論議の対象とならない。そこで家庭用品の誤使用・被害事故の対策として，相対的な重症度は低いが症例数の多い漂白剤類，洗剤・洗浄剤類群にいかに対応していくかということになるであろう。

E . 結論

家庭用品に起因する急性中毒受信例は多いが，医療機関受診時にも症状を伴っている症例は少なかった。少数の重症例は意図的な症例や年齢，痴呆のため認識・判断困難な症例に限局していた。漂白剤類や洗剤・洗浄剤類の誤使用・被害事故症例が多く認められ，重症度は低いものの，これらへの対応が今後の課題である。

F . 研究発表

- 1 . 論文発表 なし
- 2 . 学会発表

第31回日本救急医学会演題応募予定

G . 知的所有権の取得情報

- 1 . 特許取得 なし
- 2 . 実用新案登録 なし
- 3 . その他 なし

表1. 重症度と受信元

	O	A	B	C	D	合計(人)	(%)
1. 一般市民	500	1152	6	0	0	1658	48
2. 医療機関	521	822	254	86	9	1692	49
3. その他	22	77	6	1	0	106	3
合計(人)	1043	2051	266	87	9	3456	100

表2. 重症度と発生状況

	O	A	B	C	D	合計(人)	(%)
1. 用途誤り	9	30	2	0	0	41	1.2
2. 用法誤り	72	360	17	1	0	450	13.0
3. 誤認	12	88	1	0	0	101	2.9
4. 通常使用	9	50	0	1	0	60	1.7
5. アクシデント	41	101	2	0	0	144	4.2
6. 認識・判断困難	567	1042	70	19	2	1700	49.2
7. 意図的	209	181	148	61	4	603	17.4
9. 不明	124	199	26	5	3	357	10.3
合計(人)	1043	2051	266	87	9	3456	100.0

表3. 重症度と原因物質

	O	A	B	C	D	合計(人)	(%)
1. 殺虫剤類	297	403	175	66	7	948	27.4
2. 化粧品類	154	342	13	1	0	510	14.8
3. 洗剤・洗浄剤類	121	312	24	8	2	467	13.5
4. 漂白剤類	61	176	8	2	0	247	7.1
5. 乾燥剤類	39	92	2	0	0	133	3.8
6. 芳香剤類	39	85	2	1	0	127	3.7
7. 玩具類	34	80	1	0	0	115	3.3
8. 燃料類	38	56	8	2	0	104	3.0
9. 文具類	22	38	2	0	0	62	1.8
10. 電池類	23	29	5	0	0	57	1.6
11. 溶剤類	15	17	7	3	0	42	1.2
12. 接着剤類	11	22	2	1	0	36	1.0
13. 温度計類	13	15	0	0	0	28	0.8
14. 塗料類	8	16	1	2	0	27	0.8
15. つや出し剤・ワックス類	3	4	0	0	0	7	0.2
99. その他の家庭用品	165	364	16	1	0	546	15.8
合計(人)	1043	2051	266	87	9	3456	100.0

表4. 重症度と主症状

症状keyword	O	A	B	C	D	合計	(%)	A群	(%)	BCD群	(%)
なし	1043					0	0.0	1	0.0	0	0.0
ショック			1	26	9	36	1.0	0	0.0	36	9.9
チアノーゼ		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
めまい		33				33	1.0	33	1.6	0	0.0
悪心・嘔吐		924	32			956	27.7	923	45.0	32	8.8
意識障害		22	137	57		216	6.3	22	1.1	194	53.6
黄疸			4			4	0.1	0	0.0	4	1.1
下血		2	1			3	0.1	2	0.1	1	0.3
下痢		72	1			73	2.1	72	3.5	1	0.3
咳・痰		129				129	3.7	129	6.3	0	0.0
眼痛		80				80	2.3	80	3.9	0	0.0
眼瞼下垂		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
胸痛		5				5	0.1	5	0.2	0	0.0
血尿		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
血便			1			1	0.0	0	0.0	1	0.3
呼吸困難		35	17	2		54	1.6	35	1.7	19	5.2
口腔咽喉頭異常感		346	9			355	10.3	346	16.9	9	2.5
高血圧		4	1			5	0.1	4	0.2	1	0.3
四肢のしびれ		14	1			15	0.4	14	0.7	1	0.3
紫斑・出血斑		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
視力障害		6	1			7	0.2	6	0.3	1	0.3
耳痛		2				2	0.1	2	0.1	0	0.0
失神		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
出血傾向			1			1	0.0	0	0.0	1	0.3
徐脈		1	2			3	0.1	1	0.0	2	0.6
食欲不振		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
舌の異常		60				60	1.7	60	2.9	0	0.0
全身倦怠感		44	1			45	1.3	44	2.1	1	0.3
脱毛		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
低血圧		2	4			6	0.2	2	0.1	4	1.1
低体温			2			2	0.1	0	0.0	2	0.6
吐血			1			1	0.0	0	0.0	1	0.3
頭痛		27				27	0.8	27	1.3	0	0.0
動悸		7				7	0.2	7	0.3	0	0.0
瞳孔異常		6	13	2		21	0.6	6	0.3	15	4.1
熱傷		1	1			2	0.1	1	0.0	1	0.3
発汗			1			1	0.0	0	0.0	1	0.3
発疹		69	2			71	2.1	69	3.4	2	0.6
発熱		46	3			49	1.4	46	2.2	3	0.8
鼻出血		2	1			3	0.1	2	0.1	1	0.3
貧血			1			1	0.0	0	0.0	1	0.3
頻脈		3				3	0.1	3	0.1	0	0.0
浮腫		2				2	0.1	2	0.1	0	0.0
腹痛		51	2			53	1.5	51	2.5	2	0.6
腹部膨満感		26				26	0.8	26	1.3	0	0.0
便秘		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
乏尿			8			8	0.2	0	0.0	8	2.2
味覚障害		3				3	0.1	3	0.1	0	0.0
流涎		12				12	0.3	12	0.6	0	0.0
嘔声		4				4	0.1	4	0.2	0	0.0
嘔吐		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
嚥下障害		1				1	0.0	1	0.0	0	0.0
痙攣		1	17			18	0.5	1	0.0	17	4.7
合計	1043	2051	266	87	9	2413	69.82	2051	100	362	100

表5. 平成14年7月～9月 外来加療群

ID	age	sex	原因	原因物質	症状	処置
1	1	F	アクシデント	洗剤・洗浄剤類	なし	水洗
2	65	M	判断困難	乾燥剤類	なし	胃洗浄
3	0	F	判断困難	その他	なし	胃洗浄
4	1	F	判断困難	その他	なし	胃洗浄
5	52	M	判断困難	その他	なし	下剤
6	92	M	判断困難	乾燥剤類	なし	胃洗浄
7	50	M	判断困難	その他	なし	強制利尿
8	54	F	判断困難	電池類	なし	内視鏡
9	89	F	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
10	42	F	判断困難	その他	なし	催吐
11	35	F	アクシデント	その他	眼痛	なし
12	1	M	判断困難	化粧品類	なし	胃洗浄
13	65	F	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
14	2	M	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
15	1	M	判断困難	その他	なし	胃洗浄
16	60	M	誤認	漂白剤類	なし	胃洗浄
17	19	F	意図的	芳香剤類	なし	内視鏡
18	59	F	アクシデント	殺虫剤類	眼痛	水洗
19	88	F	判断困難	乾燥剤類	びらん	なし
20	1	M	判断困難	つや出し剤・ワックス類	なし	胃洗浄
21	0	F	判断困難	化粧品類	なし	胃洗浄
22	1	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
23	32	F	誤認	漂白剤類	嘔気	投薬
24	1	M	判断困難	その他	なし	胃洗浄
25	0	F	判断困難	化粧品類	なし	胃洗浄
26	1	M	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
27	25	F	誤認	その他	なし	胃洗浄
28	1	F	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
29	67	F	アクシデント	殺虫剤類	呼吸困難	なし
30	62	F	誤認	漂白剤類	心窩部痛	投薬
31	74	M	判断困難	その他	なし	吸着剤
32	2	M	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
33	2	M	判断困難	化粧品類	なし	水洗
34	91	F	判断困難	芳香剤類	なし	強制利尿

ID	age	sex	原因	原因物質	症状	処置
35	20	F	意図的	漂白剤類	呼吸困難	酸素投与
36	1	F	判断困難	その他	なし	胃洗浄
37	0	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
38	1	M	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
39	48	M	アクシデント	殺虫剤類	眼痛	水洗
40	71	F	誤認	漂白剤類	心窩部痛	投薬
41	0	F	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
42	7	F	誤認	漂白剤類	なし	胃洗浄
43	70	F	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
44	25	F	意図的	殺虫剤類	心窩部痛	胃洗浄
45	1	M	アクシデント	殺虫剤類	眼痛	なし
46	62	M	誤認	洗剤・洗浄剤類	嘔気	胃洗浄
47	35	F	意図的	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
48	1	M	判断困難	殺虫剤類	なし	下剤
49	1	F	判断困難	洗剤・洗浄剤類	嘔吐	なし
50	47	F	通常使用	洗剤・洗浄剤類	咳・痰	なし
51	2	M	判断困難	乾燥剤類	なし	胃洗浄
52	1	M	判断困難	乾燥剤類	なし	水洗
53	5	M	アクシデント	洗剤・洗浄剤類	なし	水洗
54	1	M	判断困難	その他	嘔気	なし
55	15	F	アクシデント	その他	咽頭不快感	なし
56	39	F	誤認	洗剤・洗浄剤類	嘔気	なし
57	2	M	判断困難	洗剤・洗浄剤類	嘔気	なし
58	0	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
59	1	M	判断困難	その他	嘔気	なし
60	65	M	誤認	その他	嘔気	なし
61	68	M	誤認	乾燥剤類	嘔気	投薬
62	20	F	意図的	洗剤・洗浄剤類	なし	投薬
63	2	F	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
64	45	M	判断困難	洗剤・洗浄剤類	びらん	水洗
65	0	M	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
66	31	M	意図的	その他	なし	胃洗浄
67	2	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
68	0	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
69	13	M	アクシデント	化粧品類	眼痛	水洗
70	42	M	意図的	殺虫剤類	なし	強制利尿
71	1	F	判断困難	乾燥剤類	なし	胃洗浄

<i>ID</i>	<i>age</i>	<i>sex</i>	<i>原因</i>	<i>原因物質</i>	<i>症状</i>	<i>処置</i>
72	71	F	意図的	化粧品類	嘔気	なし
73	52	F	誤認	漂白剤類	心窩部痛	投薬
74	84	F	判断困難	芳香剤類	なし	胃洗浄
75	3	M	判断困難	漂白剤類	なし	胃洗浄
76	41	F	誤認	漂白剤類	心窩部痛	なし
77	0	M	アクシデント	洗剤・洗浄剤類	なし	水洗
78	55	F	アクシデント	殺虫剤類	眼痛	水洗
79	2	M	アクシデント	その他	眼痛	なし
80	17	M	判断困難	電池類	なし	下剤
81	25	M	アクシデント	洗剤・洗浄剤類	腹痛	投薬
82	26	F	アクシデント	洗剤・洗浄剤類	腹痛	投薬
83	86	F	判断困難	殺虫剤類	心窩部痛	なし
84	92	F	判断困難	その他	なし	下剤
85	90	M	意図的	化粧品類	心窩部痛	催吐
86	3	F	判断困難	その他	腹痛	なし
87	53	F	誤認	漂白剤類	嘔気	なし
88	0	M	判断困難	その他	なし	胃洗浄
89	1	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
90	1	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
91	75	F	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
92	53	M	アクシデント	殺虫剤類	呼吸困難	なし
93	76	M	判断困難	芳香剤類	なし	投薬
94	1	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
95	65	M	誤認	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
96	0	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
97	72	F	誤認	洗剤・洗浄剤類	咽頭不快感	投薬
98	0	F	アクシデント	殺虫剤類	眼痛	水洗
99	50	F	意図的	化粧品類	発赤	胃洗浄
100	82	F	判断困難	芳香剤類	なし	投薬
101	27	F	アクシデント	殺虫剤類	発赤	なし
102	13	F	通常使用	殺虫剤類	呼吸困難	酸素投与
103	2	F	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄
104	1	M	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄
105	2	M	判断困難	洗剤・洗浄剤類	なし	胃洗浄

表6. 平成14年7月～9月 入院加療群

ID	age	sex	原因	原因物質	症状	処置	入院期間	転帰	重症度
1	29	M	意図的	洗剤・洗淨剤	嘔吐, 痙攣	胃洗淨	4	略治	B
2	81	F	意図的	殺虫剤類	意識障害, 瞳孔異常	胃洗淨, 吸着剤, 下剤	51	略治	C
3	94	M	誤認	洗剤・洗淨剤	なし	胃洗淨	2	完治	B
4	86	F	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗淨	9	略治	B
5	1	F	判断困難	玩具類	なし	胃洗淨	3	完治	B
6	27	F	意図的	漂白剤類	嘔吐	胃洗淨	2	略治	B
7	1	M	判断困難	電池類	なし	内視鏡	4	完治	B
8	0	F	判断困難	接着剤類	なし	吸着剤, 下剤	4	略治	B
9	20	F	意図的	その他	嘔気, 瞳孔異常	胃洗淨	3	完治	B
10	19	F	意図的	漂白剤類	なし	投薬	4	略治	B
11	79	M	判断困難	乾燥剤類	なし	内視鏡	4	略治	B
12	1	M	判断困難	芳香剤類	なし	なし	2	完治	B
13	22	M	意図的	その他	意識障害	胃洗淨, 吸着剤	2	略治	B
14	31	M	誤認	漂白剤類	腹痛	なし	30	転院	C
15	25	M	意図的	殺虫剤類	意識障害, 瞳孔異状	胃洗淨, DHP	6	略治	C
16	25	F	意図的	漂白剤類	意識障害	強制利尿	2	略治	B
17	1	M	判断困難	化粧品類	なし	なし	3	完治	B
18	2	F	判断困難	つや出し剤	なし	胃洗淨, 吸着剤	2	完治	B
19	40	F	意図的	殺虫剤類	嘔吐, 腹痛	胃洗淨	3	完治	B
20	64	F	誤認	漂白剤類	嘔気	胃洗淨, 下剤,	1	略治	B

ID age sex 原因 原因物質 症状 処置 入院期間 転帰 重症度

ID	age	sex	原因	原因物質	症状	処置	入院期間	転帰	重症度
21	87	F	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄	8	完治	B
22	29	F	判断困難	洗剤・洗浄剤	嘔気, 下痢	なし	3	略治	B
23	35	M	不明	漂白剤類	嘔気, 嘔吐	胃洗浄	3	略治	B
24	4	M	誤認	その他	なし	なし	2	完治	B
25	88	F	判断困難	芳香剤類	なし	胃洗浄	2	完治	B
26	36	F	意図的	洗剤・洗浄剤	なし	催吐	4	完治	B
27	2	F	判断困難	溶剤類	紅潮	胃洗浄	4	略治	B
28	89	F	判断困難	芳香剤類	なし	胃洗浄, 吸着剤, 下剤	5	略治	B
29	17	M	判断困難	文具類	なし	なし	5	略治	B
30	54	M	誤認	漂白剤類	なし	内視鏡	2	略治	B
31	89	F	判断困難	洗剤・洗浄剤	ショック, 呼吸停止	強制利尿	16	死亡	D
32	59	M	意図的	洗剤・洗浄剤	意識障害	胃洗浄	3	完治	B
33	34	M	意図的	洗剤・洗浄剤	意識障害	なし	2	転院	B
34	90	F	判断困難	乾燥剤類	心窩部痛	なし	1	転院	B
35	1	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄, 強制利尿	2	完治	B
36	35	F	意図的	化粧品類	なし	胃洗浄, 吸着剤, 下剤	2	略治	B
37	62	M	判断困難	洗剤・洗浄剤	心窩部痛	なし	1	転院	B
38	35	F	誤認	漂白剤類	咽頭痛	胃洗浄	2	略治	B
39	64	F	意図的	殺虫剤類	低血圧	胃洗浄, 吸着剤, 下剤	2	略治	B
40	15	F	意図的	漂白剤類	なし	なし	1	完治	B
41	82	M	判断困難	その他	なし	なし	2	略治	B
42	72	F	誤認	漂白剤類	心窩部痛	胃洗浄	9	略治	B
43	40	M	意図的	殺虫剤類	なし	なし	1	転院	B

ID	age	sex	原因	原因物質	症状	処置	入院期間	転帰	重症度
44	72	M	意図的	漂白剤類	びらん, 心窩部痛	水洗	14	転院	B
45	0	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄, 吸着剤, 下剤	1	転院	B
46	2	M	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄	1	転院	B
47	69	M	判断困難	その他	なし	催吐	7	略治	B
48	83	F	意図的	殺虫剤類	意識障害	吸着剤, 下剤	5	略治	B
49	84	M	誤認	漂白剤類	なし	なし	4	完治	B
50	61	M	誤認	殺虫剤類	嘔吐, 下痢	なし	9	完治	B
51	23	M	誤認	その他	嘔気, 腹痛	吸着剤, 下剤	2	完治	B
52	1	F	判断困難	芳香剤類	なし	胃洗浄	2	完治	B
53	87	F	判断困難	漂白剤類	なし	なし	2	完治	B
54	11	M	誤認	漂白剤類	びらん	胃洗浄	2	完治	B
55	31	F	誤認	その他	嘔気	胃洗浄	2	完治	B
56	59	F	意図的	洗剤・洗浄剤	心窩部痛	なし	2	完治	B
57	29	M	通常使用	溶剤類	呼吸困難	酸素吸入	7	完治	B
58	80	F	意図的	漂白剤類	なし	胃洗浄	3	完治	B
59	84	F	判断困難	洗剤・洗浄剤	嘔気	なし	2	完治	B
60	61	M	用法誤り	接着剤類	呼吸困難	酸素吸入	10	完治	B
61	55	M	意図的	漂白剤類	意識障害	胃洗浄, 吸着剤	2	略治	B
62	32	F	意図的	殺虫剤類	意識障害, 嘔吐	胃洗浄, 吸着剤	4	略治	B
63	4	M	判断困難	その他	なし	なし	4	完治	B
64	36	M	意図的	殺虫剤類	意識障害	胃洗浄, 吸着剤, 下剤	7	略治	B
65	83	F	判断困難	乾燥剤類	嘔気, 嘔吐	胃洗浄	15	略治	B
66	1	F	判断困難	殺虫剤類	なし	胃洗浄, 吸着剤, 下剤	4	略治	B